



## 第2730地区

# 鹿児島サザンウインド ロータリークラブ

事務局・例会場 鹿児島東急REIホテル

2019-2020年度

2019-2020年度  
国際ロータリーテーマ

〒890-0053 鹿児島市中央町5-1-9F

TEL 090-5295-2736

FAX 099-251-5290

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

Eメール kswrc@po5.synapse.ne.jp

会長 濱田一郎

会長エレクト 岩下いづみ

幹事 国師博久

編集 会報・広報委員会

HP <https://ksw-rc.org>

国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マローニー  
第2730地区ガバナー 喜島 健一郎  
鹿児島市内ガバナー補佐 A右田 省二・B有蘭 純一

## 第1049回例会 2020年(令和2年)1月16日(木)

本日のプログラム「クラブ協議会(上期報告・下期計画)」 VOL.24-23

前回第1048回例会(1/9(木))の報告 於:サンイザルホテル

### 鹿児島市内ロータリークラブ新春合同例会(会順)

進行 鹿児島SWRC SAA 吉田美佐子

1. 点鐘 鹿児島SWRC会長 濱田一郎
  2. 国歌斉唱「君が代」  
ソングリーダー 鹿児島SWRC 松田圭治郎
  3. ロータリーソング斉唱「奉仕の理想」
  4. 乾杯 登壇 ガバナー・ガバナー補佐・森市長  
・各クラブ会長  
乾杯 鹿児島市内分区分ガバナー補佐 右田省二  
~会食~
  5. ゲスト紹介並びに会長挨拶  
鹿児島SWRC会長 濱田一郎
  6. ガバナー挨拶 RI第2730地区ガバナー 喜島健一郎様
  7. 出席報告 鹿児島SWRC 出席委員長 上竹 順久
  8. 卓話 鹿児島市長 森 博幸 様
  9. 閉会の辞 鹿児島RC会長 山ノ内 文治 様
  10. ロータリーソング「手に手つないで」  
ソングリーダー 鹿児島SWRC 松田圭治郎
  11. 点鐘 鹿児島SWRC会長 濱田一郎
- 鹿児島市内RC会員数 443 (377) 名  
出席者 309名 出席率 81.96%



【ゲスト】鹿児島市長 森博幸様 (写真左)

国際ロータリー第2730地区 喜島健一郎ガバナー (右)



### 次回(第1050回)例会のお知らせ

日時: 2020年1月23日(木)  
場所: 東急REIホテル 2F  
プログラム: クラブフォーラム

### 出席報告

例会日	会員数	出席数	出席率%
第1048回1月9日(木)	54(51)	40	78.43
第1046回12月12日(木)訂正	55(51)	42	82.35

### 市内他RC例会プログラム

★は、記帳受付有り (ホームクラブ例会場)

鹿児島RC 1/17(金) クラブ協議会「上期報告・下期計画」(山形屋)

中央RC 1/20(月)クラブ協議会「上期報告・下期計画」(山形屋)

東南RC 1/21(火) 鹿児島東南RAC平間会員卓話 (サンイザル)

城西RC1/21(火)クラブ協議会「上期報告・下期計画」(東急REI)

南RC 1/22(水)クラブ協議会「上期報告・下期計画」(サンイザル)

西RC 1/22(水)クラブ協議会(中間報告 委員会)(山形屋)

西南RC 1/22(水) クラブ協議会 (ゆうづき)

東RC 1/23(木) 夜例会⇒職場訪問例会に変更(サンイザル)

北RC 1/23(木) 職場訪問例会(場所未定)(アトビル鹿児島)

2019-2020年度 国際ロータリーのテーマ 「ロータリーは世界をつなぐ」

第2730地区目標 「クラブの活性化に努めよう」

クラブスローガン 「知っているからこそ好きになる。もっとロータリーを学ぼう」

### 【挨拶】鹿児島サザンウインドRC 会長 濱田一郎

皆さん、新年あけましておめでとうございます。RI2730地区鹿児島市内11クラブ新春合同例会ホストクラブ・鹿児島サザンウインドロータリークラブ会長の濱田でございます。今日は、最後までよろしくお願い申し上げます。始めに、ゲストのご紹介をいたします。

年明けのご公務ご多忙の中、鹿児島市長 森博幸様に臨席いただきました。厚く御礼申し上げます。

次に、RI第2730地区ガバナー喜島健一郎様でございます。宮崎市よりご出席いただきありがとうございます。森市長と喜島ガバナーには、後程ご挨拶とお話を頂戴いたします。

今年は、東京オリンピック、東京パラリンピックの開催。鹿児島県におきましては、国民体育大会、全国障害者スポーツ大会の開催と大変にぎやかな1年となりそうです。また私たちロータリアンにとりましては、日本にRCが誕生して100年目という記念すべき年でもあります。この時に昨年誕生した鹿児島令和ロータリークラブが新たに加わり鹿児島市内11クラブが集い新年をお祝いできることは、大変喜ばしいことだと思います。

1964年オリンピックの聖火が鹿児島を走り抜けてから56年が経過し、鹿児島各地にスポーツ施設が設置され、プロスポーツも誕生、幼児から高齢者までたいへん多くの方がスポーツに親しむようになりました。

その一方、グローバル化の激流の中、企業は、生き残りをかけひたすら拡大を続け、子供の貧困、教育問題、高齢者、障害者など社会的弱者に関連する問題解決はなかなか進展せず、私たちロータリーでも、会員減少に伴う会員増強問題や例会での出席率低下の問題など苦戦しているのが現状です。

自分の職業を冒涇するような事件が頻発、昨年も、日本でも屈指の大企業で社員も社会も省みることのない経営、不正が行われていた事も発覚しました。今では、多くの日本人が非難しているようですが、その行いは、目先の利益に固執するあまり未来の地球も他者も目に入らない今の社会そのものを象徴しているようです。

そのような中「日本で今もっとも必要なのは、ロータリーの心です」と言われる方がいらっしゃいます。それが、RI第2700地区パストガバナー廣畑富雄さんです。その著書「ロータリーの心と原点」から抜粋ご紹介いたします。

「ロータリーの心、ロータリーの精神は、日本でいま最も必要なものだと思います。ロータリーの本質は、慈善ではなく、ロータリーの目的にあるように倫理性を大事にする団体です。ご承知のように今の日本は、多くの問題を抱えています。あらためてロータリーの心を考えてみたいと思います。なぜこういうことが起きるのか、その根源は一つであり、自分勝手な、自己主張のみ強くて得手勝手な人間が非常に増えた為ではないかと思えます。しかし、ロータリーの考え方は、自分勝手な生き方の正反対です。ご承知のようにシェル登は、ロータリーの基本にサービスを置きました。そしてサービスと倫理の関係を考えると、人の為に役立つには、モラルが高くなければなりません。」とされています。

日本のロータリークラブは誕生して100年、「自分の職業が社会に役立っているのか」を確認しながら成長してまいりました。私たちは、その歴史を認識、理解してこそよりよい未来を創ってけるのではないかと思います。

最後に、本年が皆様とご家族並びに従業員の皆さんにとりまして充実した幸多き1年となりますことを祈念いたしまして開会の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

【挨拶】国際ロータリー第2730地区ガバナー喜島健一郎  
新年おめでとうございます。

新年となり、皆様新鮮な気持ちでお正月を迎えられたことと思います。お正月気分も抜けきらぬ中ではございますが、本日こうして鹿児島市内RC新春合同例会が盛大に開催されることを、心よりお喜び申し上げます。

また、この会を運営されます鹿児島サザンウインドRC濱田会長をはじめ、ロータリアンの皆様には本日を迎えるにあたり、準備をしてくださるホストクラブの皆様、この例会に参加して下さる皆様、すべてにおいてロータリーに関わっていただけていることに深く感謝いたします。

私は、本年度掲げた5つの目標のうち、何かに取り組んでいただきたいと常々申しておりますが、皆様のクラブでは、現状いかがでしょうか。達成できていなくとも、達成するために、皆で話し合い、討論し、達成するためのステージにつなげて頂くことにはとても意義があります。その先に、近隣のクラブ、地区においての活発な意見交換が行われ、ロータリークラブの発展となり、地域の活性につながっていくと信じております。

本日の鹿児島市内合同例会は、クラブの垣根を越え、皆様が連携し、発展に向かう力強さの表れのように感じております。私達2730地区のすべてのクラブに対し、素晴らしい影響を与えてくれることになると思います。私自身、そのことを心に留め、本日出席の皆様方に心より感謝を申し上げるとともに、これからの皆様のクラブの発展をご祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

